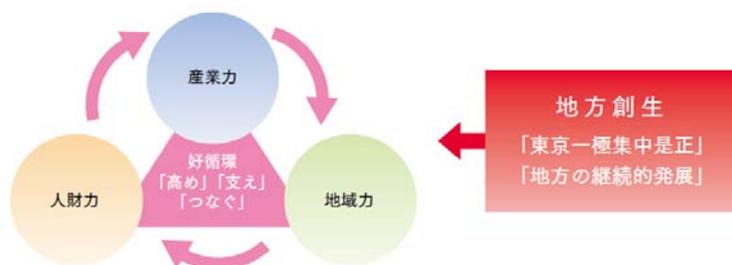


## あいち産業労働ビジョン2016-2020の概要

### ◆産業力・人財力・地域力を「高め」「支え」「つなぐ」活力と持続力ある日本一の「産業首都あいち」づくり

- 次世代産業を中心に、強みであるモノづくりの競争力をさらに磨き上げるとともに、モノづくりに関連したサービス産業などを中心に第3次産業の振興を図ることで、「産業力」をより強化し、内外から人財・企業・資源を集める。
- 地域を支える中小・小規模企業を核として、商店街、地場産業といった地域密着産業の振興を図ることで、「地域力」をより強化し、地域創生に資する。
- 次世代産業を支える人材育成や多様な人材の活躍できる環境の整備を通じて、「人財力」を強化し、更なる産業の振興を目指す。



産業力・人財力・地域力の「好循環」により、日本一ビジネスがしやすく、働きやすく、暮らしやすい環境をつくり、活力にあふれ、サステナブル(持続可能)な地域の実現を目指す。

## あいち産業労働ビジョン2016-2020の体系



# 成果達成目標

※策定時を下回る指標

施策の柱	項目	策定時(2015年)	現状値(2017年1月末)	目標値
1中小・小規模企業の企業力強化	開業率	5.24% (2013年度)	5.98% (2015年度)	6% (2020年度までに)
	中小企業の製造品出荷額等の全国シェア	8.59% (2013年)	8.61% (2014年)	10% (2020年までに)
2地域創生に資する産業の振興	県内総生産の全国シェア	6.9% (2012年)	7.4% (2014年)	7.5%程度 (2020年までに)
3次世代産業の育成・強化	製造品出荷額等の全国シェア	14.4% (2014年)	14.4% (2014年)	14.5%程度 (2020年までに)
	次世代自動車の県内新車登録販売の割合	43% (2014年度)	30% (2015年度) ※	60% (2020年度までに)
	中部地域の航空宇宙産業の生産高	0.87兆円 (2013年度)	0.95兆円 (2014年度)	1.18兆円 (2020年度までに)
4研究開発機能・立地環境の整備	ロボット製造業の製造品出荷額等の全国シェア	21.9% (2013年)	21.7% (2014年) ※	30% (2020年までに)
	学術・開発研究機関事業所数の全国シェア	4.9% (2012年)	4.6% (2014年) ※	5.5%程度 (2020年までに)
	次世代成長産業などの企業立地件数	6件 (2014年度)	8件 (2016年度)	40件 (2020年度までに)
	外国企業の誘致件数	7件 (2014年度)	5件 (2016年度) ※	35件 (2020年度までに)
5グローバル展開への支援	輸出額の全国シェア	20.1% (2014年度)	20.3% (2015年度)	21.0%程度 (2020年までに)
6観光の促進	来県者数	3,817万人 (2014年)	4,247万人 (2015年)	5,000万人(外国人:400万人) (2020年までに)
	観光消費額	7,270億円 (2014年)	7,813億円 (2015年)	1兆円(外国人:2,500億円) (2020年までに)
7就労の促進・能力の開発	労働力人口の全国シェア	6.1% (2014年)	6.0% (2016年) ※	6.2%程度 (2020年までに)
	労働力率	62.7% (2014年)	62.0% (2016年) ※	62.0%程度 (2020年まで2012年水準を維持)
	高齢者(65歳以上)の労働力率	23.8% (2014年)	23.0% (2016年) ※	24.8% (2020年までに)
	民間企業における障害者の法定雇用率達成	1.74% (2014年)	1.85% (2016年)	2.0% (2020年までに)
	若者(25~44歳)の完全失業者数	51,000人 (2014年)	44,000人 (2016年)	50,000人以下 (2020年までに)
8活き活きと働ける環境づくり	年次有給休暇取得日数	8.2日 (2014年)	8.9日 (2016年)	10日 (2020年までに)
	女性(25~44歳)の労働力率	70.1% (2014年)	72.4% (2016年)	73.1% (2020年までに)
9産業人材の育成・強化	技能検定合格者数	7,800人 (2012~2014年度平均)	7,930人 (2015年度)	8,500人/年度

## 中小・小規模企業の企業力強化

### 主な取組

#### ◆中小・小規模企業に対する支援施策の充実

- 新事業展開、販路開拓への支援、ICT による販売促進への支援
- 県制度融資の充実やクラウドファンディングの活用などによる金融の創造・創出
- 創業・ベンチャービジネスへの支援
- 愛知県中小企業振興基本条例を踏まえた小規模企業に対する支援の強化
- CSR（企業の地域貢献）推進に向けた支援
- BCP の普及促進など企業防災力の強化に向けた支援

- ・あいち中小企業応援ファンドによる新商品開発、販路拡大の支援：支援先 48 件
- ・創業プラザあいちでの創業支援：創業件数 11 件
- ・県制度融資による金融支援：創業関連資金の融資件数 380 件
- ★BCP 支援の強化：中小企業で構成される工業団地における BCP 策定を支援

（○：平成 28 年度（原則平成 29 年 1 月末）の主な実績、★：平成 29 年度の特徴的な取組）

#### ◆中小・小規模企業に対する支援体制の強化

- 愛知県産業労働センターを中心とした相談窓口機能の強化
- 地域金融機関との連携の促進
- 商工会・商工会議所、事業協同組合など、各種関係団体への加入促進
- 司法書士、行政書士、税理士、公認会計士、社会保険労務士、弁理士、中小企業診断士、弁護士など士業との連携の促進
- 中小企業支援施策に関する説明会の実施と中小・小規模企業の現場の声を踏まえた施策運用

- ・（公財）あいち産業振興機構での相談対応：ワンストップ窓口の相談対応件数 6,631 件
- ・県と地域金融機関との連携に係る勉強会の開催：開催回数 3 回、延べ 110 名出席
- ・支援機関と連携した中小企業施策説明会の開催：開催回数 15 回
- ★事業承継支援の強化：国から事務移譲を受け、経営承継円滑化法に係る認定を実施

### トピックス

#### 【愛知県よろず支援拠点による中小・小規模企業への経営支援】

よろず支援拠点は中小企業庁が全国に設置する中小・小規模企業の経営相談窓口です。愛知県よろず支援拠点は、（公財）あいち産業振興機構が運営し、全国トップクラスの相談実績（平成 26 年度開所から累計相談件数：8,025 件 平成 29 年 1 月現在）をあげています。平成 28 年度からは豊橋サテライトを開設し、利便性が向上しました。中小企業支援の経験が豊富な専門家が、様々な支援機関等とも連携し、中小・小規模企業の経営課題の解決まで伴走型の支援を実施しています。



#### 【クラウドファンディング活用促進事業の実施】

クラウドファンディングは、新商品開発等に意欲のある中小・小規模企業者や起業家が、インターネットを活用して、多数の投資家から事業資金を集める仕組みです。中小・小規模企業者等にとって、新たな資金調達手段となりうるだけでなく、マーケティングやファンづくりにも有効であり、注目を集めています。本県では、これまで 12 件のプロジェクトについて資金調達を支援してきました。平成 29 年度は、愛知県制度融資にクラウドファンディング活用促進枠を新設し、創業や新たな取組に係る資金調達を促進します。

主な取組

◆商店街をはじめとした地域の商業・サービス業などの活性化

- 産官学連携による商店街の課題解決に向けた調査研究、ハンズオン支援
- サービス産業を対象とした支援施策の充実
- SNS やE コマースなど ICT を活用した販売促進への支援

- ・商店街の活性化促進：大学等との連携を促進するマッチング交流会への参加者数 74 名
- ・サービス産業に関する経営革新の承認：承認件数 123 件
- ★中小企業に対する IT 活用の促進：(公財) あいち産業振興機構において、IT 活用の事例紹介やセミナーを実施

◆地場産業など地域産業の活性化

- 産地組合が共同実施する研修など技術技能の継承に向けた取組への支援
- 地場産品を対象とした展示商談会への出展などによる販路開拓への支援
- デザインや異業種との連携による地場産業の高付加価値化への支援
- 愛知ブランド企業など優れたモノづくり企業を対象とした国内外へのアピール

- ・愛知ブランド企業の認定：平成 28 年度認定数 28 社 総数 350 社
- ★地場産業における若手人材確保の支援：繊維及び窯業産地で若手人材の確保を促進するため、好事例集の作成や人材確保に係る専門家派遣等を実施

◆地域へ人や産業を呼び込む取組の推進

- あいち・ウーマノミクス研究会での検討を踏まえた女性の活躍と雇用拡大を通じた産業振興
- 文化芸術やスポーツイベントなどの実施によるシティプロモーションの促進
- ソーシャルビジネスサポートあいちを中核としたソーシャルビジネスへの支援

- ・モノづくり女子現場見学ツアーの実施：5 ツアー、延べ 11 か所見学 (3 月 25 日まで実施)
- ★UIJ ターン促進の強化：UIJ ターン支援拠点を東京に設置し、県内への人材還流を促進

トピックス

【輝く女性ソーシャルビジネスプランコンテストあいち 2016 の開催】

「あいち・ウーマノミクス推進事業」の一環として、身近な社会問題の解決を促すとともに、地域における新たな起業や雇用の創出等が期待できるソーシャルビジネス分野における女性の起業を促進するため、ビジネスプランコンテストを実施。66 件の応募から、愛知県知事賞 3 件、信用金庫賞 3 件、審査委員特別賞 1 件、協力機関賞 7 件の受賞が決定しました。受賞したプランの事業化に向けては、知事賞受賞者に対する県のハンズオン支援を始め、協力機関が連携した支援を行っており、地域における女性の起業をあと押ししています。



【愛知県サービス産業振興・育成ワーキンググループの設置】

医療・介護や観光産業等を含めた幅広いサービス産業における現状や県の取組を把握するため、部局横断型の WG を立ち上げ、4 回の検討会議を開催しました。WG での議論を踏まえ、平成 29 年度は「あいちサービス産業実態調査」を実施し、県内サービス事業者の現状や抱える課題をより正確に把握するとともに、その解決に繋がる施策を検討する予定です。

主な取組

◆次世代自動車分野の産業振興

- あいち自動車産業イノベーションプランに基づく施策の展開
- 次世代自動車に必要な各種部材や安全技術などの開発・普及促進
- 次世代自動車の普及支援・インフラ整備促進

- ・自動車分野における中堅・中小企業への技術指導・相談対応：延べ対応件数 16,506 件
- ・水素ステーションの整備促進：17 基 18 箇所（実証用含む）
- ★自動車産業先端ビジネスの創出：自動走行システムを活用した新たなビジネスモデルの調査、検討

◆航空宇宙産業の振興

- 航空機の増産、国際競争力強化に対応する人材育成・確保の支援
- 航空機製造の認証取得支援などによる中小企業の航空機産業への参入支援

- ・航空機製造技能者の育成：航空宇宙産業の人材育成研修研修受講者数 2,201 人日
- ・航空機製造の品質認証取得支援：認証取得数 160 件
- ※当初目標の 140 件を超えたため、「160 件を維持する」に目標再設定
- ★航空宇宙産業の販路開拓支援：エアロマート名古屋 2017 を通じて販路開拓を支援

◆ロボット産業の振興

- ロボットの安全技術取得及び実用化の支援
- ロボカップ 2017 世界大会などを通じたロボットの普及促進

- ・あいちロボット産業クラスター推進協議会の運営：会員数 379 社・団体
- ★ロボカップ 2017 世界大会の開催：7 月 25 日～31 日 ポートメッセなごや、テパオーシャンアリーナで開催予定

◆内需型産業の振興

- 医療・福祉・介護機器など健康長寿産業の振興
- 環境・新エネルギーの振興や IT 産業など都市型産業の育成

- ・医療機器の展示商談会「メディカルメッセ」でのマッチング促進：マッチング件数 92 件
- ★IoT の活用促進：愛知県 IoT 推進ラボを通じてモノづくり企業向け IoT 開発導入を支援

トピックス

【自動走行実証実験の実施】



アイサンテクノロジー株式会社に事業委託し、名古屋大学、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社等との連携の下、県内 15 市町の協力を得て、自動走行の実証実験を実施するとともに、うち、4 市町においては、県民に自動走行車両に乗車してもらい、ニーズや社会的受容性についてモニター調査も行いました。平成 29 年度は更に技術を高度化させた遠隔型自動走行システムなどを活用した実証実験を開始し、県民の皆様の更なる社会的受容性を醸成してまいります。

【2020 年ワールドロボットサミットの愛知県開催が決定】

2020 年に国が初めて開催するロボット国際大会「ワールドロボットサミット」が、本県で整備中の大規模展示場で開催することとなりました。世界が注目する高度なロボット技術を国内外から集結させ、様々な課題に挑戦させることで、ロボットの研究開発及び社会実装を加速させる機会とします。



主な取組

◆イノベーションを創出する基盤づくり

- 知の拠点あいちをはじめとした地域の研究開発機能の強化
- 発明クラブへの支援や科学技術普及啓発イベントの実施などを通じた科学技術人材の育成・強化

・あいち産業科学技術総合センターでの技術支援：依頼試験、技術相談・指導 157,849 件  
 ★世界青少年発明工夫展 2017 の開催：7 月 27 日～29 日 ポートメッセなごやで開催予定  
 ★愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者を顕彰する施設の整備：名古屋市科学館サイエンスホールでの整備に向けて、施設構成や展示内容を検討

◆産学などの協働・連携を推進する仕組みづくり

- 知の拠点あいちを核とした産学行政による研究開発・製品開発の推進
- 特区制度などの活用による研究開発環境・実証研究環境の整備

・新あいち創造研究開発補助金による製品開発の支援：平成 28 年度支援件数 86 件

◆知的財産戦略の推進

- 知財経営による中小・小規模企業のモノづくり力強化

・知財総合支援窓口における知的財産に関する相談対応：相談件数 3,685 件  
 ★知財関連のセミナー等の実施：関係団体と協力のもと中小企業の知財力強化、知財人材の育成を促進

◆立地環境の整備

- 産業空洞化対策減税基金などを活用した企業立地・再投資への支援
- ジェトロ、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会などと連携した海外ミッションの派遣や企業招へいの実施
- 産業立地サポートステーションをワンストップ窓口とした用地情報の提供
- 規制緩和によるビジネスをしやすい環境の整備

・産業立地セミナーや産業立地キャラバンによる企業立地説明会：延べ参加者数 722 人  
 ★地域未来投資促進法に基づく地域の成長発展の基盤強化

トピックス

【知の拠点あいち重点研究プロジェクト(II 期)の開始】

重点研究プロジェクトは、大学等の研究シーズを活用して県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発・実用化や新産業の創出を促進することを目的とするもの。第 II 期は、①次世代ロボット社会形成技術開発、②近未来水素エネルギー社会形成技術開発、③モノづくりを支える先進材料・加工技術開発の 3 プロジェクトを実施中です(実施期間：平成 28～30 年度、参画機関：16 大学 10 公的研究機関等 93 企業(平成 29 年 2 月現在))。



【産業空洞化対策減税基金に基づく立地補助】

活力と持続力ある日本一の「産業首都あいち」づくりを目指し、「産業空洞化対策減税基金」に基づく企業立地の支援を実施。平成 24 年度からの累計で 207 件を補助対象としており、総投資額 3,868 億円余、約 38,000 名の常用雇用者が維持・創出される効果が見込まれています。

主な取組

◆国際ビジネスの戦略的展開

- 中小・小規模企業の海外進出・取引機会の拡大への支援
- 中小・小規模企業の海外特許出願支援などを通じた知財保護への支援

- ・中小企業等外国出願支援事業による知財保護の支援：海外知財出願の支援件数 36 件
- ★海外における取引機会の拡大支援：海外の見本市等に出展する県内企業への支援

◆支援体制の強化

- あいち国際ビジネス支援センターによる海外展開への総合的な支援
- バンコク、上海の「海外産業情報センター」、ベトナム、江蘇省（中国）の「サポートデスク」、インドの「愛知デスク」による海外展開支援
- ジェットロや関係機関などとの連携促進
- 外国人留学生の活用促進、海外とのパートナーシップの構築

- ・海外との戦略的な交流の推進：インドネシアなどとの覚書の締結
- ・あいち国際ビジネス支援センターによる海外展開支援：相談件数 671 件
- ★外国人の創業活動を支援：国家戦略特区を活用し、創業外国人の受入を促進

トピックス

【インドネシア共和国経済担当調整大臣府と経済交流に関する覚書を締結】

平成 29 年 2 月 13 日に愛知県とインドネシア共和国経済担当調整大臣府との間で、経済交流を促進することを目的とした覚書を締結しました。覚書には、「友好交流関係の構築」、「セミナー、商談会等の経済交流事業を実施する際の協力」、「企業等の投資に対する支援」、「人的往来の円滑化」などが盛り込まれています。引き続き、両地域間の経済交流の拡大に資するよう、情報交換・人材交流について協力してまいります。



主な取組

◆観光の促進

- 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化
- 観光資源の充実とブランド化の推進
- 観光交流拠点県としての機能強化
- MICE・スポーツ大会を通じた誘客促進
- 戦略的な観光ひとづくり

- ・訪日外国人旅行者の誘客：アジア大商談会における招請実績 52 社 64 名
- ・武将観光の推進：ワールドサムライサミット 2016 来場者数 25,000 人
- ・首都圏及び関西圏へのプロモーション推進：観光物産展の開催回数 13 回
- ★愛知県大型観光キャンペーンの実施：JR グループ等と連携した全国規模の観光キャンペーン

## 主な取組

### ◆全員参加に向けた就労支援、人材の確保・定着

- 学生と中小企業のマッチング強化や未就職卒業者の早期就職支援などを通じた若年者雇用対策
- 不本意非正規雇用労働者の正社員化に向けた支援、非正規労働者のキャリアアップ
- 障害者の就業促進に向けた企業の啓発や障害者就職面接会の実施
- あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）の運営などによる女性の再就職支援
- 高齢者・外国人の就業促進、キャリアアップの支援

- ・中小企業の魅力発信を通じた県内企業と県内学生のマッチング：マッチング数 5,660 人
- ・ヤング・ジョブ・あいちによる若年者雇用対策：利用者の就職者数 5,746 人
- ・ママ・ジョブ・あいちにおける女性の再就職支援：相談件数 437 件
- ・中高年向け再就職支援セミナー等を通じたシニア層の就労支援：セミナー参加者数 194 人
- ★正規雇用拡大支援に向けた取組の充実：未就職者や非正規雇用労働者を対象とした就職支援塾や職場実習等を通じた正規雇用の促進

### ◆就労支援体制の強化

- 各地域のハローワークなどの就労支援機関や教育機関との連携促進
- あいち労働総合支援フロアを中心とした情報提供・相談機能の充実

- ・あいち労働総合支援フロアによる情報提供・相談対応：フロア利用件数 45,697 件
- ・国家戦略特区を活用した雇用労働相談センターの設置：相談件数 563 件
- ・大学と行政による大学生等就職支援協議会を通じた体制強化：協議会開催 3 回
- ★あいち地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会の運営：地域の経済団体、労働者団体、金融機関の代表者等からなる協議会を運営し、雇用創造に繋がる事業を効果的に実施

## トピックス

### 【愛知労働局と愛知県雇用対策協定を締結】



平成 28 年 8 月 22 日に、愛知県と愛知労働局との間で、より一層連携して雇用対策に取り組むことを目的に「愛知県雇用対策協定」を締結しました。具体的な連携事業については毎年度の事業計画において策定されますが、28 年度は、「ハローワークの全国ネットを利用した愛知県外への求人情報の提供や求職者の開拓強化」、「東京労働局との連携を加えた UIJ ターンの促進」、「技能五輪全国大会を始めとする各種人材育成支援策の PR 強化」、「女性活躍、働き方改革における優良企業情報等の相互共有、情報発信」などに重点的に取り組んでいます。

### 【障害者の雇用促進に向けた取組】

平成 28 年 7 月に障害者雇用企業サポートデスクを開設。障害者雇用に取り組む企業からの電話相談に対応するとともに、雇用や職場定着など個別のニーズに対応した支援を行っています。平成 29 年度からは、中小企業が障害者を初めて雇用した場合に奨励金を支給する制度を新設します。障害者就職面接会や、障害者雇用優良企業等の表彰などの取組も継続し、障害のある人が障害のない人と同様にその能力を発揮し、特性に応じた職業に就くことができるよう、雇用環境の整備を図ってまいります。



主な取組

◆活き活きと働ける環境づくり

- あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会による官民一体となったワーク・ライフ・バランスの推進
- 県内一斉ノー残業デーなどの取組を通じた長時間労働の是正
- 仕事と育児・介護の両立が可能な職場環境、社会環境の整備促進
- 女性・高齢者・障害者・外国人など多様な人材の活躍促進
- 非正規雇用労働者の処遇改善の促進
- 労働安全衛生・メンタルヘルス対策の促進
- 労働者や経営者のニーズを把握し、必要な施策に反映できるよう、労働団体、経済団体との連携を強化

- ・愛知県ファミリー・フレンドリー企業の登録促進：登録企業増加数 96 社
- ・労働関係法令や多様な正社員制度等の普及啓発：啓発資料の配布 7,000 部
- ・企業におけるメンタルヘルス対策の促進：セミナー参加者数 209 人
- ★働き方改革の推進：職場の環境改善や若者の職場定着に向けて、働き方改革に係る専門家派遣、企業内の若者指導人材育成に繋がるセミナー、マッチング事業等を実施

トピックス

【あいちワーク・ライフ・バランス推進運動 2016 の取組】



愛知県が労使団体等と構成する「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」では、仕事と生活の調和が実現した社会を目指して、「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動 2016～考えよう、働き方！目指そう、仕事と生活の好循環！～」を実施しました。具体的には、県内の企業等に定時退社や年次有給休暇の取得促進等の取組を呼びかけ、延べ 33,232 事業所の賛同を得ました。また、「愛知県内一斉ノー残業デー」と定めた 11 月第 3 水曜日には、金山総合駅を始め県内 11 か所で街頭啓発活動を展開しました。

【関係団体との懇談会の開催】

愛知県では、労働者及び経営者と時宜を得た労働問題をテーマとし、年に 1 回ずつ「労働問題懇話会」を開催しています。平成 28 年度は、10 月 7 日に経済団体と次世代産業の育成・強化や活き活きと働ける環境づくりなどについて、10 月 12 日には労働団体と産業・雇用・労働政策や男女平等政策、福祉・社会保障政策などについて懇談を行い、活発な意見交換が行われました。



【厚生労働省の地域活性化雇用創造プロジェクトに採択】

地域活性化雇用創造プロジェクトとは、都道府県が産業政策と一体的に実施する正社員雇用創造に資する取組を、厚生労働省がコンテスト形式で選定するもので、選定された都道府県には最大 3 年間、補助金による財政支援が行われます。愛知県は、『「産業首都あいち」実現に向けた中堅・中小企業の競争力強化による雇用創造プロジェクト』を提案し、平成 28 年度から平成 30 年度の 3 年間にわたるプロジェクト実施が決定しました。当該プロジェクトでは、UIJ ターン促進、自動車産業先端ビジネス創出、県内中堅・中小企業の競争力強化による雇用の拡大、正規雇用拡大といった取組に加え、若者の職場定着やワーク・ライフ・バランスの観点から企業の職場環境改善に関する取組も促進してまいります。

## 産業人材の育成・強化

## 主な取組

## ◆高度なモノづくりに向けた人材の育成支援

- モノづくり基盤強化に向けた人材育成の強化
- 県立高等技術専門校の充実
- 関係機関の連携による産業人材の育成体制の整備
- 若手技能者育成支援（技能五輪全国大会：2019年度及び2020年度の連続開催、全国アビリンピック：2020年度開催、技能五輪国際大会：2023年大会の招致）

- ・県立高等技術専門校における職業訓練の実施：普通課程訓練人数 120人
- ・技能五輪全国大会、全国アビリンピックへの選手派遣：技能五輪 200人、アビリンピック 19人
- ★県立高等技術専門校の施設整備：高等技術専門校の機能強化と老朽化の進んだ施設設備の整備を行うための調査等を実施

## ◆中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援

- 職業訓練や中小企業の魅力情報などを一元化したポータルサイトによる人材育成・確保の情報提供などの窓口機能の充実
- 愛知県産業人材育成連携会議などを活用した人材育成促進に向けた関係機関の連携強化

- ・産業人材育成ポータルサイトの運営：トップページビュー件数 22,768件
- ・愛知県産業人材育成連携会議に基づく産業人材育成に係る取組の推進：会議開催回数 2回
- ★中小企業における経営者人材の育成支援：あいち経営者人材育成塾の開講

## ◆キャリア教育・職業教育の推進

- インターンシップの充実・職場体験の促進
- 県立愛知総合工科高等学校の開校など職業教育の充実

- ・あいち技能マイスター等の熟練技能者を工業高校等へ派遣：派遣日数 100人日
- ★愛知総合工科高等学校専攻科の公設民営化：平成29年4月から5年間、学校法人名城大学を指定管理法人として指定

## トピックス

## 【愛知県産業人材育成支援センター】

産業を支える人材育成に積極的に取り組み、地域全体の「人財力」を高めていくため、産学行政の連携により産業人材育成を支援する窓口機能を備えた拠点として、「愛知県産業人材育成支援センター」を平成28年4月1日に開設しました。センターでは、企業OBによる専門人材が職業訓練やインターンシップの受入といった産業人材育成に関する相談・情報提供などを行っています。

## 【2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの愛知県開催が内定】

平成28年10月13日に、2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの本県開催が内定しました。今後、関係機関と連携しながら2019(平成31)年度技能五輪全国大会、2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの2年連続開催に向けた諸準備を進めてまいります。



## 【2023年技能五輪国際大会基本構想の策定】

平成29年3月13日に、2023年技能五輪国際大会の本県招致に向けた大会基本構想を策定し、国へ本県への大会招致を要請しました。